

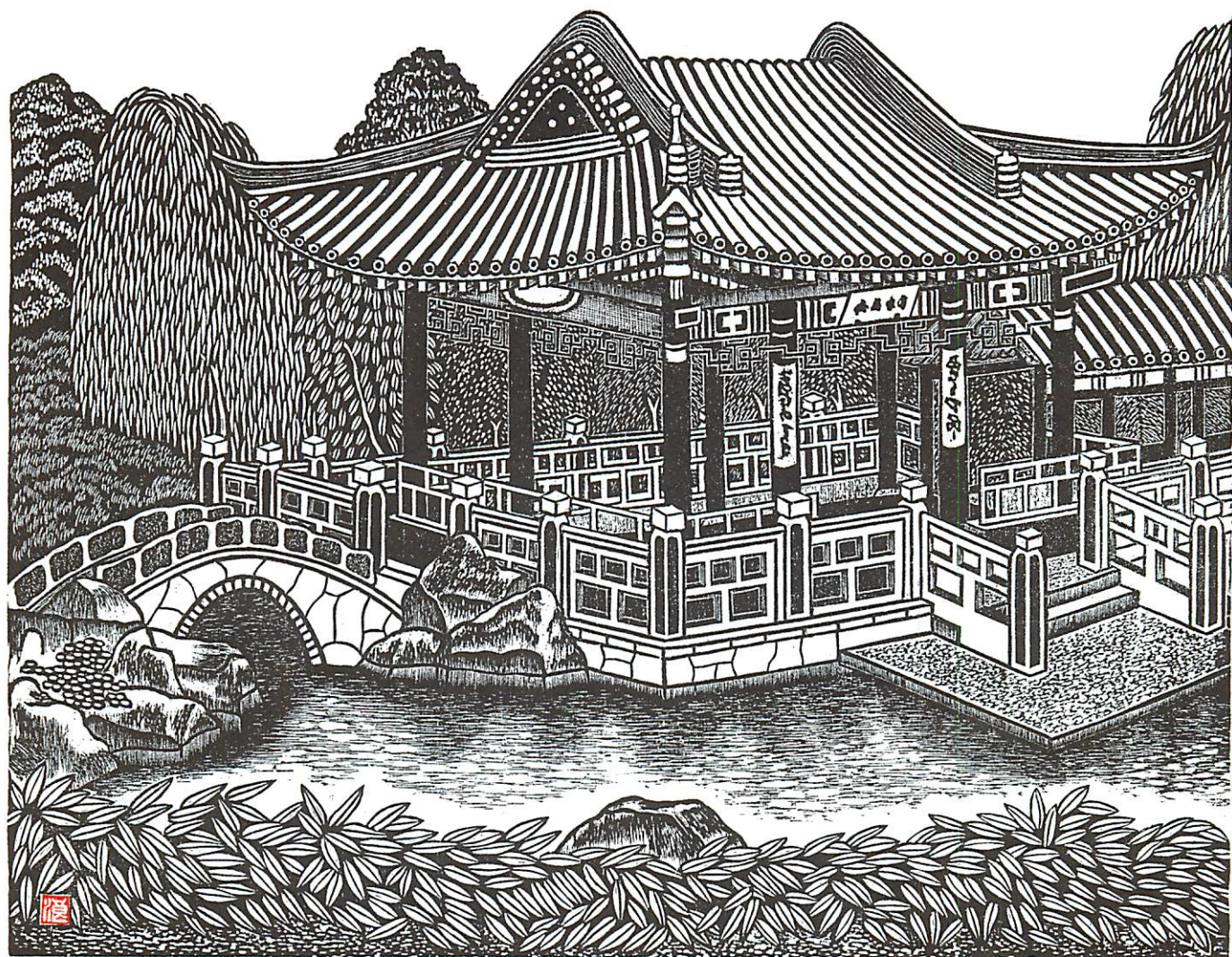
2003年

9

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 123



「大師公園内瀋秀園」版画：浪江年博

もくじ

- 2 生涯学習ア・ラ・カルト
- 4 特集 川崎市子ども夢パーク
- 6 ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
- 7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇
- 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代) / FAX 044 (739) 0085

TEL 044 (733) 5811 (ステージ・アップ直通) Eメール: stage-up@kpal.or.jp

●アカデミー●

地球を探り見直してみる旅へ

かわさき市民アカデミー「友の会」野外研修会報告

03歴史コース 武内 満夫

7月24日、かわさき市民アカデミー「友の会」主催の野外研修会が行われました。梅雨明けが遅れ、季節はずれの肌寒さと霧雨の中、150人の参加者は横須賀市にある「海洋科学技術センター」と横浜市鶴見区の「環境エネルギー館」を訪ねました。

まず、東京湾の八景島の先、海に面した広大な「海洋科学技術センター」を見学しました。ここは「しんかい6500」などの潜水調査船、「かいこう」などの無人探査機、それらを支援する6隻の大型調査船があり、それに数々の実験装置を備える海洋調査の中心施設です。私たちはここで6500メートルまで潜れる「しんかい6500」の精巧な実物大レプリカや「しんかい2000」の実物を目の当りにして強い感動を受けました。世界一といわれる技術の結晶である3人乗りの探査船は、「海の宇宙船」といえる存在でした。実験棟では、想像を超える深海の諸現象や深海域生物の不思議な生態に触れる貴重な体験をしました。このセンターが担う、海洋が気象変動や地震活動などの地球環境に与える影響の解明や、大陸棚の鉱物資源の探査などの役割に、期待が寄せられています。



「しんかい2000」を見学

日差しが出てきた午後からは、鶴見の臨海地帯に立つ環境エネルギー館へ行きました。ここは、地球にやさしいエネルギーに全館が包まれた、いわばスローライフ実験室です。夏休みに入った子どもたちの元気な歓声の中、風力発電、太陽電池、燃料電池、システムなどを見学。屋上に展開する自然そのものの雑木林、小川のせせらぎを散策、ゆったりとしたひとときを過ごしました。

かわさき市民アカデミー社会活動支援講座
「アフガン難民と日本～地域から考える難民支援」

- ◆講師 UNHCR日本・韓国地域事務所副代表 浅羽俊一郎氏
- ◆日時 平成15年10月20日(月)15時20分
- ◆会場 川崎市生涯学習プラザ401会議室
- ◆定員 先着100人 無料

※申し込み受け付けは9月17日(水)より電話・Faxにて開始。Faxの場合は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記。

問い合わせ アカデミー室 ☎044(733)6626

生涯学習ア

●まなぶ●

パソコンセミナー 受講者募集

- ◆初級ステップアップコース◆対象:文字入力のできる方
Windowsの基本操作、WORD・EXCELの基礎、インターネット、e-mailの操作と利用方法について学びます。
- ◆WORD中級コース◆対象:WORDの基本操作のできる方
文章や図表作成などWORDの機能の応用編です。
- ◆EXCEL中級コース◆対象:EXCELの基本操作のできる方
複雑な表やデータベース、グラフ作成を学びます。
- ◆ホームページ作成講座◆対象:ローマ字入力のできる方
HTMLの基礎を学習し、作成から公開の手順を学びます。

★講座日程 (会場は川崎市生涯学習プラザ 研修室)

開催日	コース	講座No.
10月 2(木)・3(金)	ワード中級	10-A
7(火)・8(水)	はじめてのホームページ作成講座	10-B
18(土)・25(土)	エクセル中級	10-C
27(月)・28(火)	初級ステップアップ	10-D

- ★受講時間…9時半～16時半 (昼休憩1時間)
- ★受講料…12000円 (テキスト代含む)。定員は各15人。
- ★申し込み…はがき・Fax・電話で。締め切りは各講座開講日の3週間前。第2希望までの講座、〒、住所、氏名(ふりがな)、TEL、Fax、年齢、受講目的を明記。
〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内
学習推進室 パソコンセミナー係
- 問い合わせ ☎044(733)5894/Fax(739)0085

●はぐくむ●

青少年創作センター「秋の創作教室」開催

小・中学生と成人を対象にした「秋の創作教室」を5教室開催します。みなさんの参加をお待ちしています。

<小・中学生の部>

- 陶芸 10月5日(日)18日(土)11月8日(土)16日(日) 全4回
9時半～11時半 費用 1000円
- 折り紙 10月26日～11月30日の日曜 全4回
9時半～11時半 費用 1000円
- あみもの (小4以上) 11月16日～12月14日の日曜 全4回
13時半～15時半 費用 2000円

<一般成人の部>

- ビーズ手芸 10月7日～28日の毎週火曜 全4回
13時半～16時 費用 6000円
 - ラッピング 10月8日～29日の毎週水曜 全4回
9時半～12時 費用 4200円
- 申し込み 9月10日(木)までに、往復はがきに教室名、住所、氏名、性別、学校名・学年(小・中学生)、TELを明記しお申し込みください。
〒214-0034 多摩区三田2-3303-1
川崎市青少年創作センター

問い合わせ ☎044(911)1510

ラ・カルト

●たのしむ●

「気功・太極拳教室」のご案内

学習推進室では、健康増進を目的とした「気功・太極拳教室」を年3期(1期10回)開催しています。今回は講師の小机實先生に「太極拳」について解説していただきました。

★「太極拳」とは★

太極拳は中国古来の武術の一種で、明王朝末に起源をもち、その精神には仏教、儒教、道教の知恵が溶けこんでいるとされています。日本で広く普及し始めて40年余ですが、健康志向の太極拳として中・高年齢に受け入れられ今日に至っています。



しなやかに演舞する受講生

この教室では、「楊名時太極拳24式」を主に学んでいます。太極拳は、体の力をゆるめ、ゆったりと円を描きながら連続して動くのが特徴で、動きを追うのに気を取られていると、呼吸が伴わなくなり、初めての人が体を思うように動かすのは、意外と難しいものです。太極拳は一通り演舞するのにわずか12分程度ですが、汗もじわっと感じられる運動量です。続けることで精神と肉体、上半身と下半身のバランスがとれ、姿勢もよくなるうえ、足腰の筋肉もつき体が鍛えられます。適度の緊張感と爽快感を味わうことができます。太極拳を始めてから風邪をひかなくなった、腰痛がやわらいだ、という声をよく聞きます。太極拳はかなりの年齢まで続けられ、奥が深い生涯スポーツです。みなさん一緒に学んでみませんか。
問い合わせ 学習推進室 ☎044(733)5572

●さがす●

まちの名所を紹介「見学情報」

市内44カ所の公共施設に設置されている「ふれあいネット」(情報の提供)には、皆さんの学習や生活に役立つ情報が入っていますが、そのなかの「見学情報」には、川崎市を中心に観光地や文化財、公共施設、民間施設の所在地、交通の便などの情報が入っています。

例えば、「東高根森林公園」(神奈川の公園50選)や「川崎市立日本民家園」(神奈川の建築物100選)、「川崎大師周辺」(かながわのまちなみ100選)などの散策コースや公園、探鳥地、花の名所などを簡単に探し出すことができます。この「見学情報」を使って、親子、仲間でまちを探索してはいかがでしょうか。

*「ふれあいネット」に入っている情報は施設利用者カードを持っていなくても見ることができます。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ハート & ハーモニー Vol.35

からだを^{ゆる}めるストレッチ

身体が「固い・柔らかい」とは、どんなことでしょうか? 多くの場合は関節の静的可動域の大きさ(いわゆる柔軟性)で判断されます。長坐位で股関節が左右にどこまで開くか、前屈で手先が足先をどれくらい越えるか、は良く使われています。いくつかのスポーツは関節可動域が大きい方が有利であり、十分「柔らかく」思える選手でも常に可動域の拡大にはトレーニング時間を割いています。「柔軟性」は筋力や持久力と比べると、変化がゆっくりな体力要素であると思われます。

柔軟性を決めているものはなんのでしょうか?

関節は骨、軟骨、靭帯などからできていて、関節を取り巻く部分は筋肉も含めて「関節包」と呼ばれています。軟骨部を含めた骨の形が柔軟性を決めることは普通ありません。ストレッチをして関節を伸ばそうとすると、突っ張り感があるのは靭帯と筋肉です。麻酔をかけると、関節の抵抗は小さくなって良く動くようになるので、関節の「固さ」は筋肉と靭帯の固さだと考えられます。

丈夫なコラーゲン線維(骨・皮膚・靭帯)が作れない遺伝子病では、皮膚がゴムのように伸び、関節が異常に伸展します。靭帯や筋肉の固さにある程度の個人差(素因)があることは確かでしょう。関節の柔らかさを整形外科では「ルースネス(ゆるみ)」と言います。柔軟性を付けることは関節を緩めること、というイメージを持つのが良いでしょう。

ストレッチ体操は、柔軟性を付ける運動の基本です。反動を付けず1か所に10~20秒以上かけて「ジワツ」と伸ばします。実際には自分の体重や補助の力を利用して、痛みが出ない程度に少しずつ余分に伸ばすほうが効果的です。この時に意識するのが伸ばされている筋肉や靭帯を「緩める」ことです。深呼吸をしたり、筋肉をさすったりするのも効果があります。

ストレッチは毎日続けることも理想的ですが、3日以上続けて休まないことの方が大切です。関節は動かさないでいると、すぐにその位置で固まってしまう。脳血管障害などで麻痺した手足のリハビリは、自分で動かせなくても、関節の可動域を保つために、早期から他動的に行います。

柔軟性があることは、日常生活でも身体の動きにゆとりをもたらします。普段から畳の上や布団の上で、「ながら」であってもゆっくりと身体を「緩めて」みるのも良いと思います。

(スポーツドクター 野田 晴彦)

特集 川崎市子ども夢パーク

7月23日、「川崎市子ども夢パーク」が高津区下作延に開所しました。「夢パーク」は2001年4月に施行された「川崎市子どもの権利に関する条例」の精神を具体化する施設として建てられ、計画からオープンまで概ね2年半の歳月を要しました。構想段階から子どもたちを主体としたワークショップ等を実施、さらに昨年4月からは運営準備会を設置し、子ども部会と大人部会の中で「夢パークで何が出来るのだろうか」「こんな施設にしたい」など理念や運営について話し合いを重ねてきました。

オープニングセレモニーで阿部孝夫市長は「ここへ着いたら、子どもたちの歓声が聞こえてきました。大人も子どもと一緒に楽しそうに遊んでいる姿が見られました。今までにない施設ができて良かったと思いました。子どもの創造性が伸びる場、無限の可能性を持った場になるよう自由な発想でつくってほしい」とあいさつし、子どもたちに未来を拓く象徴としての「鍵」を渡しました。その後、子どもたちが「夢パーク宣言」を読みあげセレモニーが終了しました。



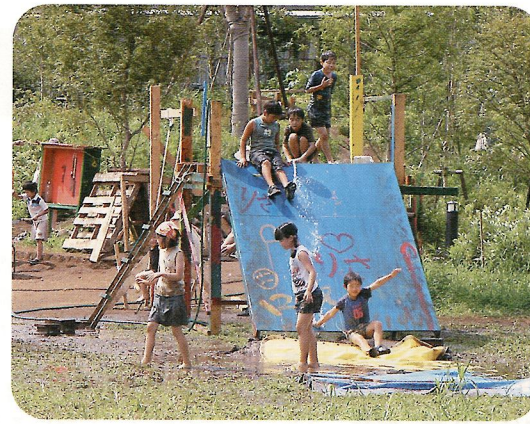
市長から「鍵」を受けとる子どもたち

「夢パーク」は子どもたちが遊びながら、学びながら、自分たちでつくっていく所です。子どもたちの「夢の卵」がたくさん育つような、そんな施設になってほしいものです。

★「子ども夢パーク」宣言 2003年7月23日★

- 川崎市子どもの権利に関する条例を実現していく場です。川崎市が決めた子どもについての約束を実現します。
- 自分の責任で自由に遊ぶ場です。自分がやりたいと思ったことにチャレンジできます。
- ありのままの自分でいられる場です。一人ひとりが大切にされて、安心していられる場です。
- つくり続けていく場です。壁をつくったり、色をぬったり、花を植えたり、遊具をつくったり。みんなで相談しながら居心地のいい場所にしよう。
- 一人ひとりが育ち・学ぶ子どもの居場所です。学校以外で子どもたち一人ひとりが育ち学ぶことを保障する場をつくりまします。
- 子どもたちが自分で動かしていく場です。子どもたちでつくる運営委員会で夢パークのことを決めていきます。イベントも自分たちで企画します。大人はそれをお手伝いします。

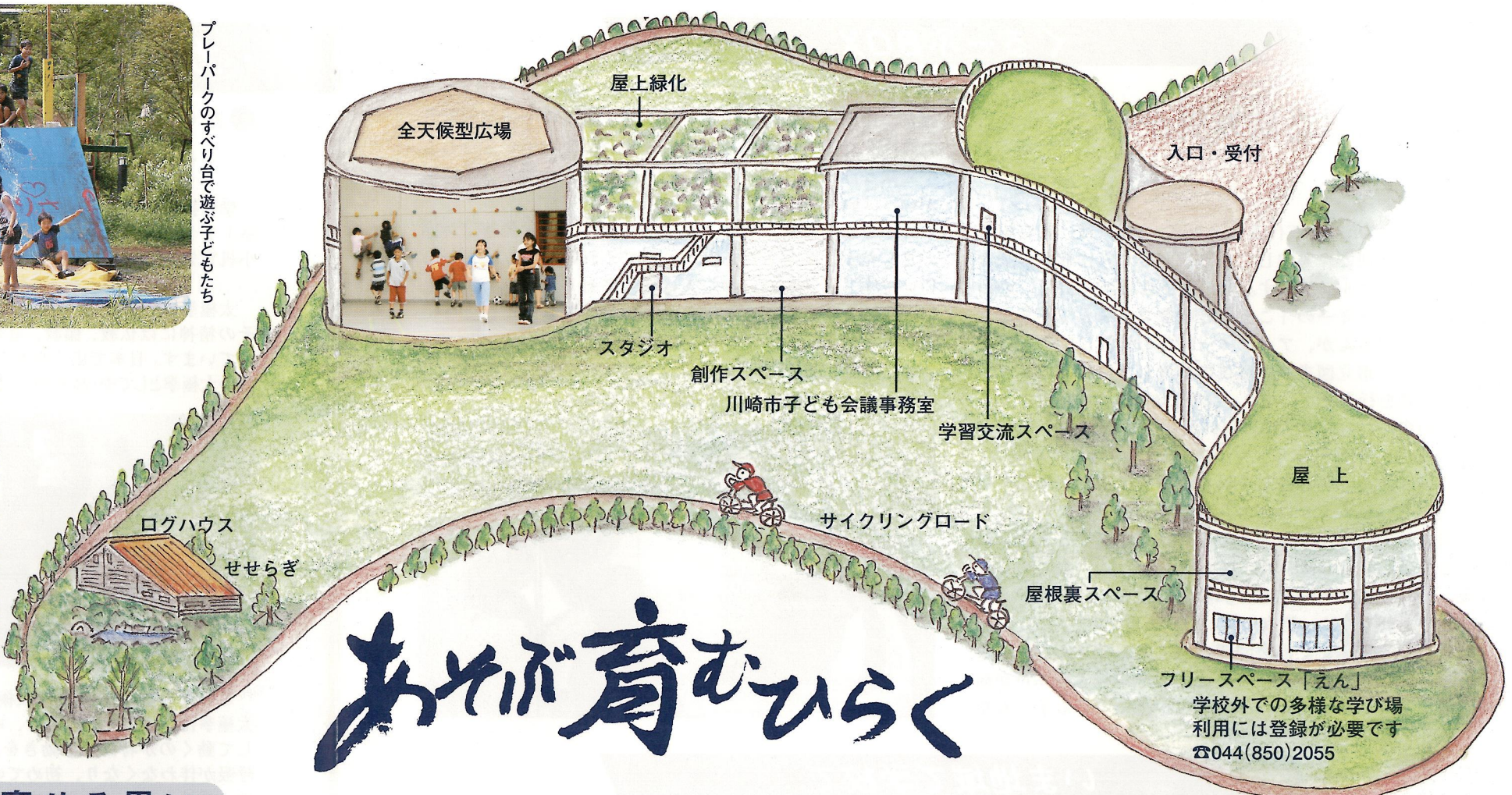
川崎市子ども夢パーク運営準備会子ども部会



プレーパークのすべり台で遊ぶ子どもたち



ビニール製の「シーバルク」に空気を送り、18メートルのタワーが完成



あそびが育むひろく

※このイラストは実際と多少異なります。

夢パークに寄せる思い

- ◆木下涼さん(小5) 陽介さん(小1)
トンネルがとてもおもしろかった。ここで水遊びをしたり、ボール遊びをしたい。みんなでバーベキューしたら楽しそう。普段は塾があるので休みの日に来たい。
- ◆宇賀村一彦さん(小6) 俊次さん(小4)
火を燃やしたり、工作したりできるので楽しそう。普段できないことがここではできそう。自分が入れる家をつくってみたい。
- ◆濱田明里さん(12歳・運営準備会子ども部会委員)
夢パークは「子ども自身が子どものためにつくる」というものだったので委員に応募した。自分で遊びを考えて、それが実現できるような所にしたい。
- ◆梁驍さん(13歳・運営準備会子ども部会委員)
夢パークでは、いろんなイベントをしてみんなに親んでもらいたい。大人が立ち入らない子どもだけの場所があってもいいのではないかなと思う。
- ◆栗田慎也さん(17歳・運営準備会子ども部会委員)
夢パークをつくるためのワークショップに参加して委員になった。建物が完成し「ああ、できたんだなあ」と感動した。皆が楽しんで笑顔でいられる場所になってほしい。
- ◆末永壽蔵さん(16歳・運営準備会子ども部会委員長)
子どもと大人が肩を並べて準備してきた。夢パークに来るのは小学生が多いと思うが、部屋をもっと増やして、中高生の居場所とし

て落ち着ける場にできたらいいと思う。集まっているうちに年齢を越えた交流が生まれればいい。

- ◆高尾知子さん
小学2年と年長とゼロ歳の子どもがいます。この施設ができるのを待っていました。雨の日も遊べる場所があるのがいいと思う。水遊びもできるせせらぎがあるのも魅力。これからいろんな遊びに発展しそうで楽しみ。
- ◆石神一代さん(運営準備会大人部会副座長)
子どもたちがそれぞれに描く夢とか、この場をこうしていきたいとか、自己実現していくことなどを支援するのが大人の役目だと思う。大人が手を出したり口を出したりするのではなく、子どもの主体性を大切にしてお守りしていきたい。
- ◆西野博之さん(リースペース「えん」を運営するNPO法人「リースペースたまりば」代表)
一人ひとりの力を結集して、子どもと共に育ちあう場になってほしい。「生きている」ということが大切。そこを踏まえて祝福あう人間関係をつくりたい。市民の力と子どもの力をどう生かせるかがこれからの鍵になると思う。
- ◆立川長坦さん(運営準備会大人部会座長)
いま子どもたちは限られた環境の中で育っている。その補完となるような場所になってほしい。川崎といたら「夢パーク」と言われるような施設に育ってほしい。



★夢パーク案内★

- 所在地：川崎市高津区下作延1500番地6
- 敷地面積：9871.76㎡
- 建物面積：1828㎡
- 交通：JR南武線「津田山駅」下車 徒歩5分
- 入場無料
- 利用時間 9時～21時 (12月29日～1月3日及び点検日は休所)
- 利用できる人は、原則として18歳未満の全ての子ども(乳幼児は保護者同伴)。団体利用の場合は事前に問い合わせを。
- ゴミは持ちかえりです。
- 駐車場はありません。障がい者用駐車場は問い合わせを。
- ☎044(811)2001 Fax044(850)2059

ぐるーぷBOX

病院で絵本を読み聞かせる

「レザミ」

「レザミ」(川口初江代表、メンバー5人)は、市立川崎病院の小児病棟で、入院している子どもたちに絵本の読み聞かせをするグループです。会の誕生は1999年11月。かわさき市民アカデミーの「ことばと映像コース」で朗読などを学んだ川口さんが、アカデミー時代の仲間に呼びかけ発足しました。市立図書館の職員の橋渡しで病院でのボランティア活動を行うようになり、今年で4年目を迎えます。

金曜の夜に行われた活動に伺いました。5人のメンバーが絵本や紙芝居を持ち寄り、プレイルームで待っていると、夕食を済ませた子どもたちが集まってきました。メンバーは一人ひとりに声をかけながら、絵本や紙芝居、時には手品を披露しながら子どもたちの心をほぐしていきます。最初はやや硬い表情で聞いていた子どもたちも、「ほくのくれよん」や「へんでこおじさん」などの絵本を読むレザミの方のやさしい語り、笑みが浮かんできます。

病室に足を運ぶと、面会時間が過ぎてお母さんたちが帰るところでした。3歳ぐらいの子どもたちの泣き叫ぶ声が病室に響きます。ここでも、メンバーが泣いている子どもを

抱きかかえあやしています。指人形や紙芝居で子どもたちの興味をひきます。少しすると…泣いている子どもたちも不思議と静かになり、お話に聞き入ります。でも目には涙がいっぱい…。

「小さな子どもたちとどう対応したらよいか最初は戸惑いでしたが、子どもたちがなついてくれるのがとてもかわいいです」とメンバーの一人は話しておりました。入院している子どもたちに少しでも寂しい思いをさせないようにというやさしい配慮にとっても温かさを感じました。

◆ 活動日：第2・4金曜日

◆ 連絡先：☎044 (587) 9515の川口さん



いま地域で学校で

学区町内会で神輿をかつぐ

京町中学校

川崎区にある京町中学校(三奈木勲校長、生徒数327人)は、道路一つ隔てると横浜市という場所に位置しています。校舎正面には、生徒会の年間テーマ「羽ばたけ京中 未来を自分の手でつかめ」と書かれた横断幕が輝いています。この学校の近くには、平安時代(948年)に建立された日枝大神社があり、毎年5月の祭礼時には神輿かつぎでにぎわいます。



同校では、20年ほど前からこのお祭りに参加しています。きっかけは町内会からの誘いでした。「中学3年生の思い出づくりとして、御神輿をかついだらどうか。社会勉強にもなるし…」という呼びかけに応じて、当時の野球部・陸上部員が参加したことが始まりです。最初は、少人数が頼まれて参加していましたが、揃いの法被を身にまとい「オイサー、オイサー」の掛け声で町内を練り歩く勇壮な神輿かつぎは、「爽快感と連帯感を味わえるのがいい」と、今では生徒の七割近くが参加するようになりました。楽しさが忘れられず毎年神輿かつぎに来る卒業生もいるそうです。

今年も、PTAの方がかつぎ終わった生徒達を校庭で迎え、用意したカレーをふるまいました。

生徒からは「地域の大人と気楽に話ができてよかった」「神輿をかついでつぶれそうな時に助けてくれた」「後半は、肩の痛みも忘れてしまうほど楽しかった」などの感想が聞かれました。

浅田3・4丁目町内会長の戸頃幸夫さんは「神輿をかついでいる姿は、実にいいですね。参加して人とふれあうことが、地域学習になるのではないのでしょうか」と話しておりました。三奈木校長は「神輿かつぎで培った連帯感が、学校行事の中にしっかりと生かされています」と語っています。

まち・ひと・多面体

歌を通して心ふれあう

「しあわせを呼ぶコンサート」

宮前区内の地域作業所や通所施設などを利用している障がいのある人たちが、ベートーベンの「第九」を原語で歌う「しあわせを呼ぶコンサート」(主催:みやまえ音楽事業推進委員会・宮前区)が7月中旬、宮前市民館大ホールで開催されました。

「ベートーベンの第九を原語で歌ってみたい」という障がいのある人のつぶやきがきっかけで始まったこのコンサートは、今年で4回目。第1部には「トゥーランブラン宮前」「長尾けやきの里」「セルフ宮前こぼと」「みずき」「宮前ハンズ」「宮前ふれあいの家」「宮前ブロッサム」の7施設から約110人が出演しました。区内で活動するコーラスグループの有志50人の応援を得て「大きな古時計」「世界に一つだけの花」など4曲を歌い、ラストに「第九」の一部を合唱しました。声楽家齊藤新さんらの指導のもとに練習したドイツ語の歌詞「フロイデシェーネル ゲッテルフンケン…」に乗って、共に歌う喜びを精一杯表現しました。

今回、伴奏を担当したのは、第2部にゲスト出演した



日本フィルハーモニー交響楽団のソロ・コンサートマスターの木野雅之さんら4人。コンサートの趣旨に賛同しての協力となりました。バイオリン、チェロ、トロンボーン、ピアノの華麗な演奏が合唱に寄り添い、客席を埋めた600人から盛んな拍手が送られました。

出演した「宮前ハンズ」の大西多夫さんは「思い切り歌えて、最高の気分です」。賛助出演した合唱団員は「歌を通して障がいのある人とふれあう事で、心の距離が縮まったように感じます」と話しておりました。会場からは「来年も聴きにきたい」「ステージと客席が一体となって心温まる音楽会だった」という声が聞かれました。

くらし百景

双蝶句会

俳壇

- | | |
|------------------|-------|
| 大鯉の跳ねて向き変ふ夏の池 | 渡辺 善雄 |
| パスネットで乗り継ぐ駅や飛花落花 | 堀口恵美子 |
| 木道を一筋残し草茂る | 渡部 厚子 |
| 亡きひとの声に驚き昼寝覚 | 榊 勝麿 |
| 牡丹寺陶狸にもお賽銭 | 秋山登美江 |
| 風涼し海にはみ出す遊園地 | 古宇田 實 |
| 通院の夫の汗沁む夏帽子 | 和田 洋子 |
| 何回も居場所の変はる扇風機 | 長谷川糸子 |
| 梅雨出水中洲の草の見えかくれ | 井上 清視 |
| 札立てし人は亡くとも物芽出づ | 石橋 誠一 |
| 節料理食むもナースに介助され | 石橋 輝耀 |
| 人の居ぬ浜辺に拾ふ桜貝 | 多田 京子 |
| 大滝に人は無言の刻となり | 大谷 茂 |
| どの席も万緑に向くカフェテラス | 高井恵智子 |
| 青葉風第二ボタン開けにけり | 中村 淳 |
| 石臼に目高三代生きてある | 松沢カツ子 |
| 腹帯のふくらみまぶし寒卵 | 芹田三四子 |
| 骨折の杖に極暑の絡みつく | 山口 千香 |
| 軽やかに胸揺らしをり更衣 | 五十嵐澄子 |
| 夫の掌の温もり久し蛸狩 | 山田 節子 |

※双蝶句会は「海」という結社に属しています。仲間と会うことが楽しみで、毎月一回の句会と吟行会を続けています。和気あいあいとしたメンバーばかりで、心なごむひとときを過ごしています。初心者の方、大歓迎です。 ☎〇四四(八五四)二五一〇代表 山田節子

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●①要約筆記入門講習会②点字入門講習会

①は9月18日～10月16日の毎木曜13時半、全5回。②は9月19日～10月17日の毎金曜10時、全5回。①②とも場所は川崎市多摩川の里身体障害者福祉会館。受講料は無料。テキスト代実費。㊦9月4日(木)必着で、往復はがきに講習会名、住所、氏名、年齢、☎を記し、〒214-0012多摩区中野島6-13-5の同館。☎(935)1359。

●簿記2級能力検定準備講座

10月20日～来年2月5日の月・木曜18時15分、全25回。労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1700円。㊦9月28日(日)9時から電話で。☎(222)4416。

●ままとんきっず9月の講座①ピース教室②簡単離乳食

①は9月18日(木)19日(金)10時15分。定員10人。参加費500円、材料費500円から。②は9月25日(木)10時。定員8組。参加費は500円、材料費500円程度。場所は多摩区菅稲田堤のNPO法人「ままとんきっず」事務所。㊦☎(945)8661。

●川崎市民プラザ「社交ダンス教室」

9月13日～11月29日の土曜、全10回。初級は10時40分。中級は9時。上級は12時半。受講料12000円。㊦受講料を添えてプラザフロントへ。㊦☎(888)3131。

●日本女子大学公開講座

9月下旬開講のマオペラを楽しむ▽歌舞伎400年・忠臣蔵300年と浮世絵▽色彩検定2級対策など27講座の受講生を募集中。場所は同大学西生田生涯学習センター。希望者には講座の無料パンフレット送付。詳細は☎(945)3323。

●大妻女子大学公開講座～日本を外から見ると

9月20日～10月18日までの毎土曜10時～12時、全5回。講義テーマは、「漱石のイギリス」「中国に生まれた江戸の怪談」他。受講料3000円。定員先着100人。㊦往復はがきに、住所、氏名、性別、年齢、☎、職業を記し、9月13日(土)までに〒208-8540多摩市唐木田2-7-1大妻女子大学事務部公開講座係へ。☎042(372)9988。

●清泉ラファエラ・アカデミア秋期講座

9月29日(月)開講の▽英会話(小・中学生クラスも新設)▽スペイン語▽中国語▽テニスなど33講座の受講生を募集中。場所は同大学宮前平キャンパス。受講料は1期10回17000円～27000円。㊦☎03(3447)5551の同大生涯学習センター。

●玉川大学公開講座

9月開講の▽スケッチの旅日光▽版画を楽しむ▽初めての手話▽フランス語など17講座の受講生を募集中。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●国際語エスペラント入門講座

9月17日～11月5日毎水曜19時半から、全8回。川崎市国際交流センター。エスペラントは異なる民族が対等にコミュニケーションできることを願って創られた国際補助語。受講料3000円。学生は半額。㊦☎(533)1974の北川さん。

●市民天体観望会「中秋の名月とお月見団子」

9月6日(土)19時、麻生区千代ヶ丘の川崎授産学園。雨天時は天文集会。無料。小学生以下は大人同伴。㊦☎(954)5011。

●たちばなの緑の会「秋の久末を歩く」

10月25日(土)13時半。プラザ橋集合。所要時間は約2時間。小雨決行。コースはプラザ橋～蓮花寺～久末天照大神～久末ふれあいの森他。定員20人。保険料・資料代で150円。㊦10月3日(金)までに往復はがきに氏名・住所・☎を記入し、〒213-0026高津区久末2012-1プラザ橋まで。☎(788)1531。

●第10回あゆまつり

9月13日(土)11時～15時。雨天決行。多摩区中野島のあゆ工房。模擬店、バザー、作品展示など。㊦☎(911)1315。

●第8回「しゃらく麻生」写真展

9月19日(金)～24日(木)10時～17時。多摩市民館ギャラリー。㊦☎(988)8022の金子さん。

●ミニ画廊スナック「琴」①写真展②書展

①8月30日(土)～9月13日(土)は久保栄・西尾まり子の作品。②9月13日(土)～27日(土)は江崎翠人教室の作品展。場所は幸区鹿島田。㊦☎(544)0507。

●チャリティ映画会「えんとこ」

9月13日(土)13時半、中原市民館。寝たきりの障害者と介助の若者達との日々を記録したドキュメンタリー。入場料1000円。㊦☎(434)0253の川崎いのちの電話事務局へ。

●ランチタイムコンサート～アイルランドの風

9月17日(木)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演はシャノンズ。曲目は「ダニーボーイ」「春の日の花と輝く」他。無料。㊦☎(210)3600の文化財団。

●笹子まさえ「歌曲の贈りもの」バラード

9月28日(日)14時開演。会場は高津区溝口の糶ホール。曲目は「ます」「すみれ」他。2000円。㊦☎(755)0890の「さえの会」木村さん。

●かわさきヤングミュージカル2003「OH!演・団」

公募による小学生から社会人の市民が出演するミュージカル。公演は9月20日(土)18時半▽21日(日)14時、すくらむ21(川崎市男女共同参画センター)。▽11月3日(祝)14時、川崎市教育文化会館。応援券1000円、高校生以下500円。応援券は川崎市文化財団(川崎駅前タワーリパークビル3階)と川崎市生涯学習振興事業団新百合分室(新百合21ビル地下2階)で販売中。㊦☎(200)2280の市民文化室。

●第7回岡本太郎記念現代芸術大賞「TARO賞」募集

自由な視点と発想で創作活動を行うプロ・アマの作家を支援し、優れた業績を顕彰する。美術のジャンルにこだわらず、新たな表現を切りひらく作品を募集。出品料は無料。応募締め切りは9月30日(火)。詳細は川崎市岡本太郎美術館「TARO賞」係。☎(900)9898。

●「さいわい歴史の会」会員募集

幸区を中心とした地域史を研究してみませんか。定例会は毎月第2土曜の午後、幸市民館で行います。月会費300円(半年分前納)。㊦☎・Fax(544)7970の大西さん。

●合唱団「虹」団員募集

11月30日に公演予定の舞台にプロと一緒に立ってみませんか。練習は第1・3日曜10時、高津市民館他で。入会金1000円。月会費3000円。㊦☎・Fax(755)0890の木村さん。